

当院におけるCY1 胃癌切除症例の治療成績

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、第124回日本外科学会定期学術集会にて医学研究として発表いたします。対象となる患者さんでご自身の診療情報の研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

研究期間：2011年1月～倫理委員会承認日～2025年3月31日

【研究の目的・意義】

腹水洗浄細胞診陽性胃癌はStage IVに分類されます。他の非治癒因子によるStage IV胃癌と比較し予後は良好とされるが、依然予後が不良な病態です。通常、胃切除+化学療法が推奨されていますが、至適切除・郭清範囲や術後治療などに関しては、一定の見解が得られていないのが現状です。今回腹水洗浄細胞診陽性と診断された胃癌患者さんの治療成績について、既に確認された情報を用いて検討したいと考えています。追加での採血や画像検査等はありません。

【対象となる方】

2011年1月から2023年9月までの間に当院で胃癌に対して胃切除を行った胃癌の患者さんを対象とします。腹水洗浄細胞診が陽性になった患者さんの治療成績について検討します。

【研究機関名及び研究責任者（情報の管理について責任を有する者）】

りんくう総合医療センター 消化器外科 古川 陽菜

【調査項目】

患者背景、腫瘍学的因子、治療成績、予後

【個人情報保護】

この研究に関わって収集される情報・データ等は、個人情報を守秘し慎重に取り扱います。患者さんのお名前など個人を特定できる情報が明らかになることはありませんのでご安心ください。また、この研究以外の目的に用いることはありません。

この研究について、わからないことや聞きたいこと、何か心配なことがありましたら、お気軽に下記の連絡先までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

りんくう総合医療センター 消化器外科 古川 陽菜

泉佐野市りんくう往来北2-23 電話：072-469-3111 FAX：072-469-7929